

特集 予 防

【責任編集】

田邊 翔太

松江赤十字病院 救急部

中島 幹男

東京都立広尾病院
救命救急センター

INTENSIVIST

インテシヴィスト

Vol. 15 No. 1
2023

JSEPTIC

Japanese Society
of Education for
Physicians and
Trainees in
Intensive Care

注 意

本誌に携わった全員が、本誌に示す情報が正確で、実臨床を反映したものとなるよう極力努力した。しかしながら、編著者ならびに出版社は、本誌の情報を生じた結果生じた不都合に對しても責任を負うものではない。薬物の使用にあたっては、個々の薬物の添付文書を参照し、適応、用量、付加された注意・警告に関する変化を常に確認されたい。

1. はじめに：神は細部に宿る……………1

田邊 翔太 松江赤十字病院 救急部
中島 幹男 東京都立広尾病院 救命救急センター

2. ストレス潰瘍予防：適切にリスクを評価し、常に中止を検討する……………3

松本 慶太・宇賀田 圭 松江赤十字病院 集中治療科
田邊 翔太

3. 静脈血栓塞栓症予防：患者に応じた予防法を適応する……………15

畑中 康人 東京都立墨東病院 救命救急センター
岡田 和也 東京都立墨東病院 集中治療科

4. 人工呼吸器関連肺炎予防：これまでとこれからの常識……………31

吉田 陽・伊藤 雄介 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科

5. 謔妄予防：謔妄予防のために我々にできることは何か？……………43

新里 祐太郎・安田 英人 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科

6. カテーテル関連血流感染症予防：バンドルアプローチのその先へ……………63

前澤 俊憲・櫻谷 正明 JA 広島総合病院 救急・集中治療科

7. カテーテル関連尿路感染症予防：エビデンスをいかに実践に生かすか……………73

福田 俊輔・安宅 一晃 奈良県総合医療センター 救急・集中治療センター

8. 手術部位感染症予防：ガイドラインの推奨とエビデンスを読み解く……………81

高橋 翼・鷲頭 菜 鉄蕉会亀田総合病院 集中治療科/高度臨床専門職センター 診療看護師
林 淑朗 鉄蕉会亀田総合病院 集中治療科

9. 予防的抗菌薬：急性肺炎・脾摘後・誤嚥後における感染症予防……………97

川本 雄也・植西 憲達 藤田医科大学 救急総合内科

10. 褥瘡予防：

患者の入室直後から褥瘡発生リスクを念頭に、褥瘡予防ケアを実践する……………113

松原 康美 北里大学 看護学部

11. 急性脳損傷の発作予防：予防的抗発作薬のエビデンスは限られる……………123

中泉 貴之 浦添総合病院 救急集中治療部

【コラム1】破傷風予防：ワクチンの追加接種で積極的な予防対策を……………134

三輪 慎、中島 幹男 東京都立広尾病院 救命救急センター

【コラム2】口腔ケア：口腔ケアはVAPを予防できるのか？……………138

卯野木 健 札幌市立大学看護学部看護学科 成人看護学急性期領域
山北 紗静 札幌市立大学大学院看護学研究科博士前期課程 急性期領域

【コラム3】腸管管理：便秘や下痢は予防すべきか？……………144

山本 良平 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 医療疫学分野

【コラム4】心停止蘇生後患者のシバリング予防：シバリングの評価と適切な介入……………152

神部 菜由・中川 俊 TMG あさか医療センター 神経集中治療部

■ 最新エビデンスを読む

第 6 回：心停止蘇生後管理に関する新しいエビデンス……………160

小中 理大・片岡 惇 練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門

■ Lefor's Corner

第 47 回：Vascular Access and Hemodynamic Monitoring
Part XXVIII：The history of right heart catheterization
and the pulmonary artery catheter……………166

Shinichiro Kondo Shizuoka General Hospital

Alan Kwarai Lefor Chiba Nishi General Hospital/Department of Surgery, Jichi Medical University

■ 集中治療に関する最新厳選 20 論文……………169

田邊 翔太 松江赤十字病院 救急部

吉田 英樹 聖マリアンナ医科大学 救急医学

■ 倫理規定……………176

■ 次号予告……………177